# 県連通信

#### □■□■第48号■□■□

発 行:青森県生活協同組合連合会

住 所:〒038-0012

青森県青森市柳川2丁目4-22

連絡先: Tel: 017-766-1521 Fax: 017-766-3136

# ◇◇県連理事研修会開催しました◇◇

8月26日(火)県連理事研修会を県観光物産館アスパムで開催しました。日生協支援部の宮部氏に「生活協同組合の理事の役割・権限・責任」についての講演をいただきました。参加者は一期2年目の理事さんから2007年の生協法改正前からの理事さんと幅広く参加しましたが参加者みんながわかりやすく、図解を交えての講演でした。

改めて理事の役割の大切さや責任について学びま した。講演後のグループ交流は、「生協で理事として 大事にしたいこと」の一点で交流しました。

参加した理事さんは「疑問は放置しない」「理事という立場だが一組合員としても発言していく」「地域と生協の仲を取り持ち、組合員の立場で事業活動を行っていきたい」などの積極的な発言がありました。

# ◇◇◇第 30 回青森県生協大会 ◇◇◇

たくさんのご参加お待ちしております。

日時: 2014年11月18日(火)

10 時 30 分~14 時時 30 分

お楽しみ抽選会あります

会場:リンクステーションホール5階

(青森市文化会館・大会議室)

・青森市堤町1丁目4-1

講師:天笠(あまがさ) 啓祐氏

市民バイオテクノロジー情報室代表





<講演の宮部氏とグループ交流の様子>

## ◇◇すすめ「被災者生活再建支援制度拡充」署名そしてNPT署名◇◇

7月始めの県内全体の学習講演会を受けて、各生協で支援署名活動の取組が進んでいます。9月末までの署名集約数は11,338 筆になりました。この中で県民生協はすでに自主目標を達成し、さらに活動の輪を広げ他の生協を引っ張っています。また他の生協でも11月末の集約に向けて独自の学習会を設定して取り組みを強化しています。医療生協やほかの生協もそれぞれ集約が進んでいます。コープあおもりでは、組合員さんと直接お会いできない本部機関で、組合員活動部の三浦部長が15名の内勤者に対し



<内勤者の学習会>

て学習会を行い取り組みを進めています。また平野会長や小野寺常務理事も積極的に友誼団体 に出かけて署名のお願いをしています。

10月には多くの県民に取り組みの大切さをお知らせするために、街頭での署名活動も予定しています。(県内の生協の署名は50,000筆を目標にしています)

・同時に2015年4・5月に開催が予定されている核不拡散(NPT)再検討会議再開に向けた署名活動も進めています(9月末現在2,445筆)。県生協連から3名の代表を出そうと理事会で確認し、そのための運動も始めました。代表になった方々には11月開催の生協大会での決意表明、事前学習を踏まえニューヨークでの行動の後押しをすることにしています。

## 《被災者生活再建支援制度の抜本的拡充を求める署名活動の街頭署名を行います》

日 時:10月22日(水) 午前11時30分~12時15分(11時00分集合)

場 所:青森駅前 新町通り「アウガ」前

## ◇◇「ユニセフのつどい」を開催しました◇◇

9月12日(金)アスパムにおいてユニセフのつどいを開催し、①生協でユニセフに取り組む意義について~日生協組合員活動部:中村氏~、②ネパール指定募金のまとめと新たに開始する東ティモール指定募金について~ユニセフ協会:石尾氏~、の2点の講演内容でした。

参加者は生協で行っている「スマイルスクールプロジェクト」で学校への支援活動について理解

を深めコアノンロール等での1円募金の大きさに驚いていました。引き続き購入していきたいと感想を寄せていました。また、3期9年続けたネパール指定募金の成果を確認し、新たに始まった「東ティモール指定募金」について理解を深めました。講演の最後に県連小野寺常務理事より「支援は自立することを助けること、本日の講





<ユニセフビンゴクイズと講演する石尾氏>

演内容を多くの方に広げてほしいと参加者に伝えてまとめとしました。この日は、東日本大震災の 復興支援商品等が当る「ユニセフ\*ビンゴ」も昼食時に行われ 5,400 円の募金が寄せられました。

コープあおもりの地域活動担当者と地域の委員さんは、弘前市内の中学校文化祭でユニセフ活動の紹介、写真パネル、水瓶、地雷のレプリカ、蚊帳等の展示を行いました。会場となった教室には生徒以外にも多くのPTAの方々も見学に来ていて、実際に手に触れたり

水瓶には水を入れて持ちあげて重さを体験 したりしていました。蚊帳には一人では入 れないと六人がグループで入ったりしてい ました。また今回初めて募金箱も用意して 募金の訴えもしました。地域ではこの後も 小中学校での展示を予定しています。





<蚊帳の体験と水瓶の重さ体験>

## ◇◇「2014 灯油学習会」を開催しました◇◇

9月30日(火)にアスパムにおいて、元「灯油裁判」原告輔佐人の岩佐恵美氏を迎え「灯油裁判と生協運動」という内容で講演をいただきました。例年になく残暑が短く灯油を使い始める時期が早まっている中で、灯油の価格(高止まり傾向)を気にしながらの冬を迎えることへの不安を抱える中での開催となりました。

岩佐氏は、山形「鶴岡生協」で取り組んだ灯油裁判は、灯油価格でヤミカルテルが結ば

れ組合員が不利益を被ったことの請求の裁判や、それだけにとどまらず組合員が共同することの意義、消費者の「権利裁判」など今に至る運動の成果があったことを始めに報告しました。鶴岡生協の運動は石商のヤミカルテルで不当な値上げが行われ、組合員が不利益を被ったもので、公取委を動かし元売りへの強制立ち入り調査の実施、検察への告発と大きな動きとなりました。黙っていることなく声を上げていくことの大切さを参加者で確認し終了しました。



<講演中の岩佐恵美氏>

## ◇◇3 生協合同CO-OP共済キャンペーン研修会開催◇◇

8月29日(金)に今年度のコープ共済加入推進の研修会が行われました。研修には県民生協、県庁消費生協、そしてコープあおもりの3生協の職員が参加しました。午前と午後の2部形式で行われ、午前は店長、副店長を対象としたマネジメント研修で、講師の大嶋利佳氏が部下に対する指導についての指導法について講演しました。「病める」部下を減らし、「辞める」部下を減らすためのほめ方、叱り方のコツなどの具体例を挙げた内容でした。

午後は3生協の各店舗から2名程度、合計で約120名を対象として櫻本智恵美氏の

「コープ共済に恋をして」と題した講演がありました。具体的には「櫻本流のロープレ」と「コープ共済の良いところ探し」をしてグループ内で実践的なロープレが行われました。 グループ討議の後には、午前から参加の店長が振り返りと決意表明を行い締めくくりました。



<講演中の大嶋氏>

## ~~青森県総合防災訓練に参加しました~~



<県生協連参加の救援物資輸送訓練>

県生協連で訓練参加団体として、8月31日(日)に行われた青森県総合防災訓練に参加しました。今年の開催は、青森県と八戸市の合同開催で「八戸市八太郎公園」をメイン会場に市内の小中学校も避難訓練や避難誘導訓練などと合わせて行われました。参加は85団体、約2,000名の規模となりました。

訓練は「青森県東方沖でマグニチュード8.2の地震が発

生し八戸で震度 6 弱を観測、建物の倒壊や火災の発生、ライフラインの甚大な被害、そして大津 波警報が気象庁より発表された」という想定で行われました。訓練項目は初期対応の伝達方法、 交通規制、瓦礫家屋救出、避難困難者救出、ボランティア受付、災害復旧訓練(抜粋)、など担当 ごとに行われました。県生協連は「救援物資緊急輸送訓練」の訓練に参加しました。

#### 

# ~第2回職域生協部会開催~

今年度第2回目の職域生協部会を十和田市で開催しました。参加生協は十和田市職生協、生協とわだ、八戸市職生協、県庁消費生協の4生協で、6月に開催の「統一セール」結果報告と11月に開催の「秋のコープ商品統一セール」についての協議を





<統一セールの商品を検討する参加者>

行いました。会議では生協の新製品、リニューアル商品が紹介されセール の扱い品約60アイテムを順次選定していきました。





# 「福島の子ども保養プロジェクト ーコヨットー」を支えて

### ~コープあおもりで25年連続「青森ねぶた」出陣~

・今年で3年目のねぶた参加、福島からは31名の親子が青森へ。到着後の歓迎会で自己 紹介をした後、準備された海の幸がたっぷり入った「シーフードカレー」を食べ、早速ね ぶた衣装に着替えていざ出陣(一緒に参加のお母さんたちもねぶた衣装に)。運行には福島 のみんなと一緒に地元の組合員さんたちも参加しました(約150名)。この日は天気にも恵 まれ、また土曜日とあって大変盛り上がりました。

翌日は、朝食を済ませ「浅虫水族館」へ イルカショーも見て満足。その後は海水浴 と楽しみました。参加した子ども達はねぶ た衣装を着てまつりに参加できてよかった、 イルカショーが楽しかったなど思いでたっ ぷりの2日間となったようです。





#### 

#### ■天笠 啓祐「あまがさ けいすけ」氏■

1947 年生まれ。現在ジャーナリストとして、原子力発電、遺伝子組み換え食品、電磁波など化学 技術のもたらす問題点、科学技術と社会の関係について積極的に発言している。「原発はなぜこわい か」「遺伝子組み換え食品」「電磁波汚染」など主著・共著多数執筆。

こんなことが聞きたい、、、 TPP 参加で食品汚染、牛肉輸入の条件緩和、残留農薬の規制緩和、 等輸入増加でますます日本の食の安全が危惧されています。その上、福島の原発事故での農産物、魚 介類など農林漁業に甚大な被害を与えています。天笠氏がこのような問題にどのように対処していけ ばよいのか「日本の食」について詳しく、優しくはなしてくれます。

#### ■2014介護保険改定学習会 開催■

- · 11月7日(金)午前10時45分~14時00分
- ・青森県観光物産館「アスパム」5階
- •講 師:①青森県健康福祉部高齢福祉課介護保険G 内容「介護保険制度改定と県民の生活」(仮題)
  - ②社会福祉法人こーぷ福祉会みやぎ 事務長:木島 弘詞 氏
    - 内容「介護保険改定と新しい地域支援事業」(仮題)
- ・なお、県内の他の地域での開催も予定しております。

## 【2014年10-12月の県連行事・会議の予定】\*印は県生協連主催



- 10月22日(水) \*第7回組合員活動協議会(コープあおもり本部)
- 10月24日(金) \*第2回コープくらしのたすけあいの会幹事会(コープあおもり)
- 11月7日(金) \*介護保険改定学習会(アスパム)



- 11月8.9 (土・日) 第5回ぜ~んぶあおもり大農林水産祭 (青森産業会館)
- \*第3回県連理事会(コープあおもり本部) 11月12日(水)
- 11月13日(木) \*第8回組合員活動協議会(コープあおもり本部)
- 11月18日(火) \*第30回生協大会(リンクステーションホール~文化会館)
  - 11月21日(金) \*3生協合同共済キャンペーン総括会
  - 12月 5日(金) \*第3回県連職域生協部会(十和田市)
  - \*第9回組合員活動協議会(コープあおもり本部) 12月24日 (水)



